

事業所名:くろもりの郷

作成日:平成 24年 1月 26日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	状態変化時や見直し時期が予定より遅れ、現状を反映した計画作成が出来ない事がある。	現状に即した介護計画を作成する。	定期的な見直しは、見直し全月に対象者及びカンファレンス開催部を掲示すつ。また、状態変化時には、数日観察した後遅くても1週間以内にカンファレンスを開催する。	1か月
2	4	委員の都合や運営推進会議の認識が理解されず運営推進会議の開催が少ない。また、市職員等の参加がない。	定期的な開催を行う。	委員の方々に対し、運営推進会議の必要性を説明し出席依頼する。市職員又は包括支援センター職員へ参加を依頼する。	3か月
3	35	避難訓練は、職員及び併設の特養職員のみで実施し、地域の消防団の参加は無い。	年1回地区消防団の出動し合同で避難訓練を行う	運営推進会議委員である地区消防団長と協議し参加を促す。	2か月
4	36	居室入口に小窓があり、中の様子が常時見えている状態である。そのため、利用者のプライベート空間が守られていない。	プライベート空間を守る。	小窓にカーテン等を取付必要時(夜間の状態確認)以外は見えないようにする。	1か月
5	40	食事時の観察を立ながら行っている。	同じ目線で観察する。	職員用のいすを購入し座りながら観察できるようにする。	1か月
6	54	使い慣れた物品の持ち込みが少なく、その人らしい生活がおくれていない。	慣れ親しんだ環境で生活する。	今以上に、家族へ必要性を説明し理解を得る。	3か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。